



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

# 大和中ロータリークラブ会報

REACH OUT...

手をさし伸べよう...

R.I 会長 クレム・レスーフ

第 14 回 例会 1978 年 9 月 28 日 (木) 雨 第20号

出席報告

会 員 数	出 席 数	出 席 率	前 年 比
25 名	22 名	95.7 %	100 %
加 席 者 宮之原			

矢野会長テーマ 友情の輪をひろげよう

司 会 蜂 屋 副 会 長

## ゲスト

星 特別代表

## ビジター

光島 督君(軽井沢) 大高雅夫君(座間) 塚本勉君, 山中勝義君, 小沢 睦君, 出縄 茂君, 黒川孝君(大和)

## 会長報告

蜂屋副会長代行

- 去る23, 24日の地区年次大会には皆様御出席いただき、ありがとうございました。
- 先日矢野会長の御見舞に参りました。病状は快方にあり、食事も進むようになりましたが、未だお話することが出来ないとの事で、報告だけして参りました。10月上旬になれば面会も許されるとの事でした。退院までにはあと一ヶ月程かゝるようです。

小笠原会員ですが、その後の経過は大変良いようで、日増に元気を回復されておりますが、今年一杯は静養の必要があると、皆より言われておるそうです。皆様にくれぐれ、よろしく

との事でした。

- 明年第259地区の研究グループ交換の団員申込書が参っております。該当される方がおられましたらご推せんどさい。(書類回覧)

## 幹事報告

### 第6分区分会幹事会

9月26日午後6時より厚木市小杉会館に於て、第6分区分会幹事会があり国際奉仕委員長の佐藤実会員と私が出席いたしました。

会議は本年の研究グループ交換の第6分区分会における受入れ計画について、富田分区分会代理より説明があり決定されました。

- 1) 視察は相模原周辺にまとめ実施されます。移動はマイクロバスでおこなわれることになりました。
- 11月17日(金)第一日目横浜西口のホテルまでマイクロバスでお迎に行く、お迎は分区分代

本日のプログラム	(10月5日)
「ロータリーの社会奉仕」石渡三郎パストガバナー	
次週予定	(10月12日)
「社会奉仕について」クラブフォーラム	

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事・務 所 : 大和市中心1-5-40  
及 び 大和市商工会館内  
例 会 場 : 電話0462(63)7926

例 会 日 : 毎週木曜日12時30分より  
例 会 長 : 矢野久元 副 会 長 : 蜂屋良平  
幹 事 : 長谷川清一 会 報 委 員 : 土屋・郡司

理、相模原南RC会長、同幹事、同社会奉仕委員長、通訳として大和RCの小武徹郎氏がご協力する。

午前10時に北里大学病院に到着の予定、この時間に各クラブの会長と国際奉仕委員長は一行のお出迎えをお願いしたいということ。

昼食は相模原の三共会館、午後は小原光学を視察、視察終了後3名づつ宿舎に送る。

11月18日(土)第2日目宿舎まで迎えに行き、午前10時相模原市役所に、市長並びに市議会議長を表敬訪問する。この際各クラブの会長と国際奉仕委員長はこの時間までに市役所ロビーで一行を迎える。

昼食は相模原の三共会館、午後は県立フィッシングパークで魚釣を楽しんでいたとき、宿舎に送る。

11月19日(日)第3日目は日曜日なので行事は予定しません。11月20日(月)午前10時、横浜駅西口まで送り次に引継ぐ。

2) この行事に関し費用が315,000円不足するので、各クラブは35,000円の負担をしていたべきということに決まりました。またこの負担金振込みの詳細は後便で報せてくることになっています。当クラブでは、この負担金を皆様に據出願うかクラブの資金を充てるかは未定でございます。協議して決めさせていただきます。

3) 伊藤ガバナーノミニより、54年度地区年次大会を相模原市民会館で開催したい、県央での大会は初めてですので県央の特色を出すように努めたいので分区各クラブのご協力をお願いしたいとのご挨拶がありました。

#### 連絡事項

- 1.) 国際ロータリー在日財務代行者、柏原孫左衛門さんと、蔵並ガバナーより、ロータリーレートの変更について通知がありました。従来220円であった適用レートを10月1日より1ドル192円とする旨、連絡がありました。
- 2.) ロータリーレートが192円になり、ロータリアンの善意の国際的参加がし易くなりました。

たので、担当委員会にご協力をお願いします。

- 3.) ロータリー情報委員会の勉強会に皆様の参加をお願いします。ロータリー情報委員会では毎例会終了後、別室で会員のための勉強会をおこなっています。私共はまだまだロータリーについて認識の不足が多いと思います。解らないまゝ旧くならないように努めたいと思いますのでご参加をお願いします。
- 4.) 横浜田園ロータリークラブのチャーターナイトの登録料を納入して下さい。会員1人1万円です。納入事務は事務局の高橋さんまでお願いします。

## 委員会報告

### クラブ会報委員会 土屋委員長

○本日お手元に原稿依頼の文書を配布させていただきました。クラブ会報も今号で13号になり、そろそろマンネリ化しつつありますので、気分一新の為第4ページ目を会員親睦の為のページとしたり、皆様のご協力をお願いします。又各委員会報告、イニシェイションスピーチ等につきましても、終了後メモをご提出頂ければ幸いです。

### 社会奉仕委員会 芦田副委員長

○10月12日のクラブフォーラム「社会奉仕について」は先週大和RCの入内嶋さんからもお話がありましたが、「我々に出来る社会奉仕とは」と題し、3つ程皆様ご意見を出して頂きたい。無記名で結構です。次回例会時にお出し下さい。フォーラムをスムーズに運営されます様にご協力下さい。

### 親睦活動委員会 猪熊委員長

○本日は次の方のお祝がでございます。  
創業記念日 富沢重徳君 (10月3日)  
○先週お渡し致しました家族会の申し込み書は、次回例会までにお出し下さい。又参加費も次回例会時に徴収致しますのでご用意下さい。

## イニシエーションスピーチ

### 亀谷志郎君

私の名前はカメガイと呼びます。私は岐阜県の出身で郷里には亀谷という性が非常に多いのです。

私の父は非常に厳格な教育者であり厳しく育てられました反面、母は大変優しく、自分で責任を負う事、人に迷惑をかけない事であれば何をしてもうまいと言われました。

父が教職を去り、現在の北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）の平城へ移り、私もそこで育ちました。小学校時代は勉強がきらいで、中学へ入ってから結核の為に1年半程休校し、ろくに勉強もしませんでした。その頃になりますと戦争がだんだんと激しくなり、生き残るには医者が一番良いと考え、当時は九大の方も多く、九大の医学部を受験し、運良く入学することが出来ました。

私は6人兄弟のまん中ですが、これまで両親と友人の影響を強く受けて来ました。先ず九大へ入学し友人に恵まれ、勉強する事と、地道に生きる事を教えられました。しかし、どうせ兵隊に行かねばという気持もあり大いに遊ぶ事もしました。

九大時代には兄の恩師でもありましたが、緒方大象先生（竹虎の兄）は忘れる事が出来ません。たまたま大阪大学の大学院へ来ないかとの誘いもあり大阪大学へ移りましたが、ここで立派な先生にめぐり会うことが出来ました。小説「白い巨塔」でも知られておりますが、阪大医学部名誉教授の梶原三郎先生です。小説に出て来るような先生ではありません。私はこの先生から多くの事を学びました。初めて医者としてめざめたと言っても過言ではありません。先生の教えは「学問は自分でするものだ」とおっしゃり、テーマも何もくれません。研究に対しては実に厳しい先生でした。

事情があって昭和39年大和へ来て開業しました。阪大の研究室におりました時も良き友人を沢山得る事が出来ましたが、今日こうしてロータリアンになり、新しい色々な職業分類の友人と知り合う事が出来、大変に嬉しく恵まれたと感謝しております。今後共よろしく。

### 北砂富三君

私の名前もキタスナではなくキタサゴですのでよろしく。今日は題して「私の運命」についてお話してみたいと存じます。途中私の仕事のコミーシャルもさせて頂く事になるかも知れませんが悪しからずご諒承下さい。

はじめに何故私がこの職業（損害保険）をするようになったかと申しますと、大学2年の時友人宅へ遊びに参りました折、友人の妹さんが高校受験のため勉強されており、教えてやってくれないかと頼まれ、半年程家庭教師をする事になりました。私の教え方が良かったかどうか、希望の学校へ入ることが出来ました。それから近所の人達の評判にもなり、一時は教え子が150人くらいになった事もありました。このまゝ進んでおれば現在どこかの塾の先生で終わったと思いますが、たまたま教え子の中にイギリス人の子供が居り、日本語を教えておりました。その子の親が現在私が勤務する会社の当時社長でした。私が卒業した昭和30年の頃は「大学は出たけれど」と言った就職難の時代でして、その社長が入社してはどうかと勧めてくれました。私は保険がきらいでしたが、損保の査定員だと言うことで入社し、現在に至っております。

これからはコミーシャルになりますが、保険には生命保険と損害保険があります。この二つは同じ会社では扱えない事になっています。私どもは損保でアメリカの保険会社ですから日本と多少違うかも知れませんが、例えばある会社が工場を作る場合、建物の図面が出来た時点で呼ばれ相談にのります。壁の厚みとか消火設備等のアドバイスをします。建築費用は高くなりますが、その分保険料が安くなります。出来上りますと火災はもちろん、生産された物、従業員の傷害、自動車などあらゆる面での保険があります。この世の中に保険無しでは生きて居られないと私は自負しております。先ず皆様が想像されるあらゆるものに保険がかけられます。本日はちょっとしたきっかけから、この道を歩むようになったことをかいつまんでお話ししました。

# Charter Member's Profile



## 上田 会 員

小田急線南林間駅を北へ少し行ったところに、上田小児科医院があります。地区大会翌日の月曜日の夕方、一日の診療を終えたお疲れのところへお伺いしました。

— R C について入会前からご存知でしたか。また入会された動気について……

それぞれの分野の職業代表の集まりであることは知っていました。そのような方々とお友達になれたらと思い入会しました。でも出席のきびしいのにはビックリしました。」

— R C 例会について……

「初めは束縛感と緊張感に耐えられるかなと不安でしたが、少し慣れたようです。やはり、時間のやりくりには苦労しています。」

上田利久。昭和4年1月、大田区鶴の木町の医家に生まれる。49才。慶応中等部から医学専門部課程を経て、昭和26年慶応医学部小児科学教室に入局。昭和33～43年国立東京第二病院小児科、44年～48年大和市立病院小児科へ出張勤務。昭和33年から大和在住、48年2月に開業、現在に至る。

— R C 雑誌委員長として……

「皆さんロータリーの友は勿論のこと、よく勉強されているので今のところ出る幕はなさそうですが、雑誌の紹介等少しづつやってみたいと思います。小さなテーマでも積み重なっていけば、それなりに価値が出て来ると考えています。ご協力をお願いします。」

— これからの R C に望むことがありますか？

「お互いに明るく率直な意見の交換をしているうちに自然と自分の視野が広がり、又それがなんとなく奉仕につながっている。というような事になったら嬉しいですね。全体の雰囲気ももう少しなごむとい、ですね。」

— ところで一昨日、昨日と地区年次大会がありました。出席されたご感想は……

「組織力の大きさを再認識し、そしてロータリーに対するモヤモヤが少し晴れたような気がしました。又 R.I 会長代理の物事の良さと見識の深さに感服し、敬意を表します。2日間とも参加したかったのですが、日曜診療と重って残念でした。参加して本当に良かったと思います。」

休日にはテニス、ゴルフ、又音楽鑑賞もお好きだとおっしゃる上田さん。雑誌委員長として THE ROTARIAN 誌の翻訳をされ、ノートにはぎっしりとメモが書かれていました。

今回の取材に当たってもメモを用意して下さっており、大変に助かりました。

(土屋会報委員)

## スマイルBOX

座間 R C 大高会員、お世話になります。

大和 R C 出継会員、今後ちょくちょくお世話になります。よろしくをお願いします。

大和 R C 黒川会員、本日で2回お世話になります。どうぞよろしく。

松本会員 町田のゴルフコンペで三年ぶりに優勝

致しました。かんげきの余り !!

寺田会員 プロフィールをどうも……。口走ったことが立派な記事となって、有難とうござ座居ます。

小菅会員 地区年次大会に欠席して、会員各位にご迷惑をかけました。

富沢会員 創立記念祝